

藤所
安研究

記念学術奨励賞の受賞者決定

首都大
学東京 大久保准教授ら6人

安藤研究所（安藤明博理事長）は7日、第23回安藤博記念学術奨励賞として「超高速解析手法を用いた超音波イメージングに関する研究」の首都大学東京の大久保寛准教授（34）ら6人の受賞者を決定し、発表した。同賞は、エレクトロニクスの発明家で研究所創設者の故安藤博氏の功績を記念して、大学の若手研究者のうち、エレクトロニクス分野の独創的で萌芽的な研究活動を奨励するものである。研究所創設50周年の88

年から毎年選考を行い、今年までに99人の受賞者を決めている。

授賞式は6月19日に東京都内のホテルで行われ、受賞者には研究奨励金50万円が贈られる。

ほかの受賞者の研究テーマと氏名は次の通り。

▽ワイドギャップ半導体省エネルギーデバイス実用化に向けた新規評価技術開発
加藤正史（34）名古屋工業大学准教授▽ホログラフイによる3次元動画像再生・撮影システムに関する

研究Ⅱ下馬場朋祿（35）千葉大学准教授▽超高周波高性能アンテナの高速高精度電磁界解析の研究Ⅱ鈴木健仁（29）茨城大学助教▽量子ドットスピントランジスユア・トラック助教。

夕に関する研究Ⅱ浜屋宏平（34）九州大学准教授▽有機半導体材料の電子状態変調法に関する研究Ⅱ道信剛志（33）東京工業大学テニ